

# アクションプラン対象施策の具体例

## IV 地域資源を'強み'とした地域の再生

### 生産技術を活用した産業競争力の涵養

文科省、経産省により、三次元造形等の高度な生産技術を開発する。それらを地域のものづくり産業に適用し、競争力強化と新たな付加価値の創造を実現する。

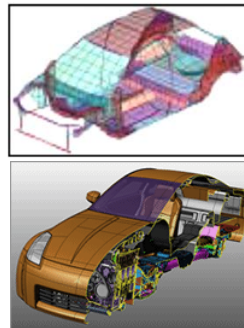
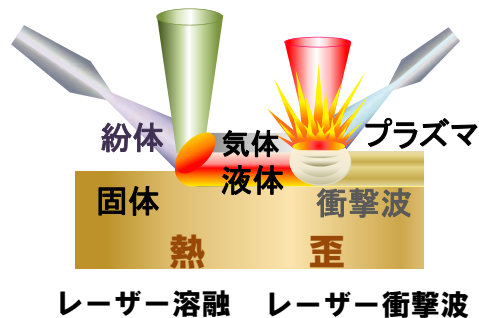
(2016年) 最終目標スペックの50%の3Dプリンタ試験装置の完成

(2020年) 造形速度が現在の約10倍、造形精度が約5倍の高速・高性能3Dプリンタを実用化

(2020年～) 自由で複雑形状の高付加価値製品、これまで実現できなかった高機能製品を3Dプリンタで製造

#### 文科省: 基盤技術の研究開発

- ・ レーザー等による次世代加工・造形技術
- ・ 三次元モデリング技術

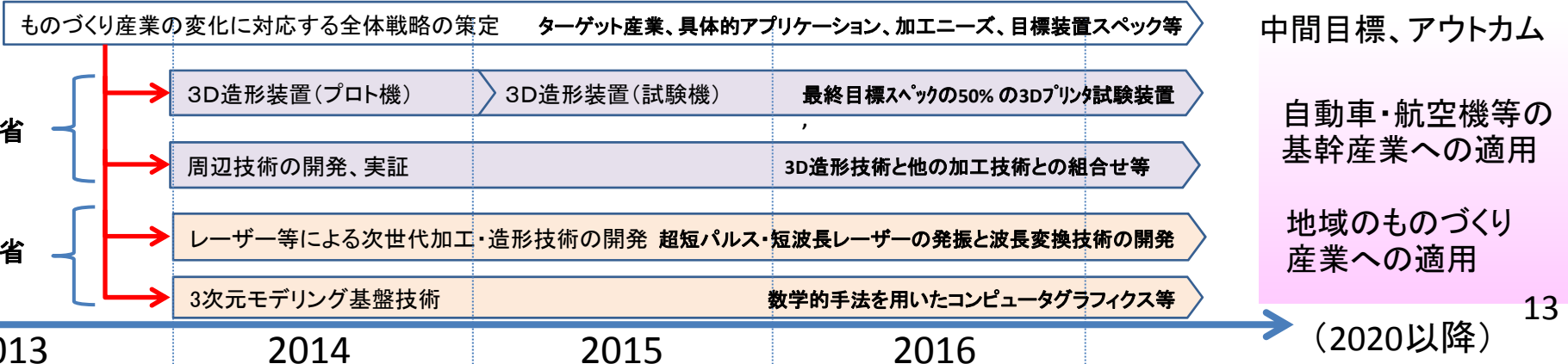


#### 経産省: 産業用3Dプリンタ技術開発

- ・ 全体戦略の策定
- ・ 高度なユーザーニーズを目指す“究極の3Dプリンタ”
- ・ 「次世代ものづくり産業」に向けた周辺技術



**連携**  
 共通の目標設定  
 研究成果の相互フィードバック



# アクションプラン対象施策の具体例

## V 東日本大震災からの早期の復興再生

### 革新的技術・地域の強みを活用した産業競争力強化と雇用創出・拡大等

被災地内において、農林水産・食品分野の多数の技術シーズを組合せ、体系化する大規模実証研究や東北の大学・製造業が強みを有するナノテクノロジー・材料分野における産学官の協働を推進し、地域産業における新ビジネスモデル展開を目指す。

- 被災地での実証研究を通じて経営改善効果を把握し、最適化した技術体系を導入することにより、生産コストの5割削減または収益率の倍増を達成する技術体系を確立し、農林水産業・農山漁村を活性化。
- 希少元素高効率抽出技術、超低損失磁心材料技術、超低摩擦技術などの革新的な基盤技術を軸とした東北地域の産業を活性化。

#### 食料生産地域再生のための先端技術展開事業

例：東北地方に適したイチゴ養液栽培システム  
(生産性の大幅な向上)



#### 東北発 素材技術先導プロジェクト

例：超潤滑ナノ界面最適化技術による低摩擦システム設計  
(燃費効率の大幅な向上)



食料生産地域再生のための先端技術の展開

ナノテクノロジー・材料分野における産学官の協働の推進

導入効果を把握した個別技術の被災地への導入

複数の先端技術を組み合わせた大規模実証

希少元素高効率抽出技術、超低損失磁心材料技術、超低摩擦技術などの領域における技術開発

随時実用化

復興再生をさらに加速化  
成果や活用事例を世界へ積極的に発信

2013

2014

2015

2016